

# 学校教育の野外教育における現状と関わりの苦肉の策

氏名 西垣幸造 (OBJ 尼崎市立美方高原自然の家)

コロナ以前の学校の野外教育

自然学校 5年生4泊5日31校

コロナ禍の状況変化

コロナ拡大期での状況

施設休館

学校休校→夏休みの短縮

ガイドライン

自然学校の日程変更(5・6月)

4泊5日→2泊3日→0泊1日

コロナ禍で自然学校支援とは?

自然学校の利用のない状況で!

学校教育への関わりの苦肉の策

尼崎市教育委員会との連携

職員派遣による自然学校支援

支援が必要な学校調査

41校→24校+α(事前・事後のみ)

コロナ禍の自然学校(要望の変化)

企画指導型→活動現場支援のみ

事前学習・本番・事後学習にむけて

学校の支援内容とは?

施設から指導員の派遣にむけて

新しい生活様式とプログラム

マスク・手洗い・ソーシャルディスタンス等

感染状況に対応した内容

提供プログラム例と苦労した点

これからの課題



# 学校の野外教育 (兵庫県尼崎市立小学校5年生等)

コロナ以前 (2019年度)

自然学校 5年生 (4泊5日) 31校

オリエンテーション合宿等 (中学校4月5月)

キャンプ実習 高校体育科 2泊3日

コロナ禍の状況変化 (施設休館・学校休校・夏休みの短縮)

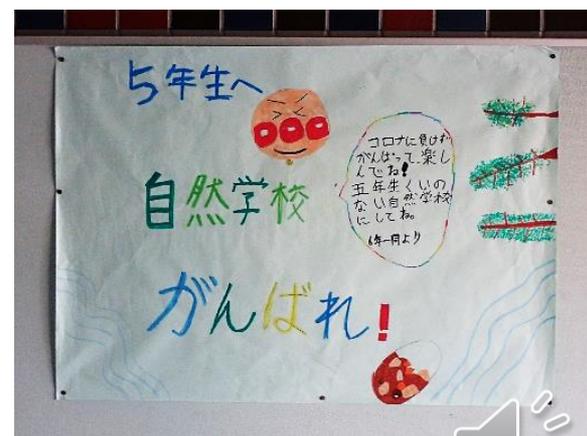
尼崎市の小学校自然学校の経緯 (兵庫県下の各教育委員会単位で判断)

4月 2学期から4泊5日実施を模索

5月 2学期から2泊3日実施で模索

6月 2学期から0泊1日実施決定

尼崎市立美方高原自然の家での実施0校



# 自然学校とは？

## 兵庫県の自然学校推進事業の主旨

学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、  
児童が人や自然、地域社会と触れ合い、理解を深めるなど、  
長期宿泊体験を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、  
よりよく問題を解決する力や、  
生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心を育むなど、  
「生きる力」を育成することを目的とする。



**OUTWARD  
BOUND**

尼崎市立美方高原自然の家

<http://obs-mikata.org>

# 要望の変化（コロナ禍の自然学校）

1 児童にできるだけ自然体験活動を提供したい。

0泊1日と（事前学習・事後学習）

教科学習もしなければならない。

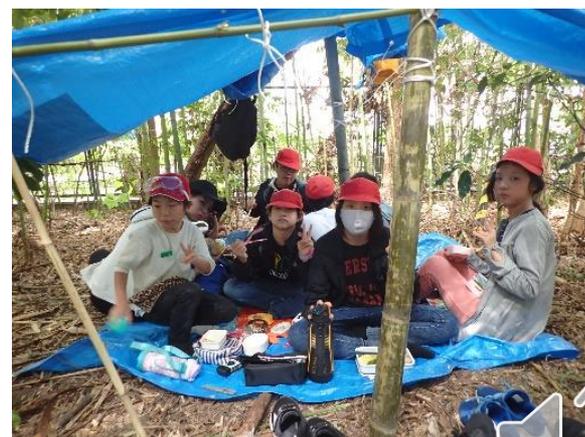
どうする？事前学習と事後学習

2 当日のサポートスタッフがほしい

サポートの学生リーダーが集めにくい（コロナ禍・平日実施）

3 不慣れな施設・不慣れな野外活動

野外教育の相談や助言を受けたい



# 感染拡大防止

学校側：行事実施判断・児童の健康管理（検温、マスク、手洗い指導等）

施設職員側：活動中の感染拡大防止（マスク・消毒・ソーシャルディスタンス等）

感染状況に対応した内容

例 野外炊事 共同調理→レトルトカレーを湯煎・使い捨て食器  
課題解決ゲーム 身体接触あり→身体接触を伴わないゲーム

# プログラム例

- ・ 事前学習授業（キャンドルサービスの運営等について）
- ・ 施設の地元講師が行う地域学習と「とちもち」作り
- ・ 学校内での基地づくり、野外炊事、夜のつどい
- ・ フィールドアスレチックでの安全支援、ウォークラリー支援、自然観察
- ・ 野外炊事支援・草木染、藍染・火熾し・ロープワーク・あまごづかみ支援
- ・ キャンプファイヤー・キャンドルサービス・焼き板工作支援



# 苦勞した点

- ・ 6月に自然学校の利用先を探して決める。  
早々に利用内容とスケジュールを決めなければならなかった。
- ・ 0泊1日 時間的余裕がないスケジュール  
できるだけ多くの活動をさせてあげたい
- ・ コロナ禍、教育効果を高める手立て。  
ふりかえりの時間が・・・十分とれない。  
後日、活動をふりかえる作文  
めあてに対しての自己評価と作文など
- ・ 活動中、油断すると距離が縮まる。



## 課題（コロナ禍であっても）

- ・ 先生方の思いを具体的な教育目標（事業目標）へ
- ・ 時間にゆとりある活動の提供
- ・ 基本的なコロナ感染拡大防止策の遵守
  - しっかり手洗い
  - できるかぎりマスク着用

ご静聴いただき、  
誠にありがとうございました。



**OUTWARD  
BOUND**

尼崎市立美方高原自然の家

<http://obs-mikata.org>

